

事務事業名 公園緑地等維持管理事業

政策:01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策:04 都市の整備

基本事業:99 施策の総合推進

部名:都市建設部

課名:都市整備課

計画年度	年度 ~ 年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計	
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市管理の公園・緑地		公園・緑地137ヶ所の清掃、草刈り、樹木剪定等の維持管理をする。自治会に公園管理協定の締結を図り、消耗品、材料等を支給する。 管理協定の締結 10公園				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		一般消耗品 69,322円 修繕料（フェンス修繕等4件） 300,510円 公園管理委託料（樹木管理等45件） 11,088,504円 維持保全工事 4件 3,416,594円 公園補修材料 340,043円 公園緑地管理用備品 140,700円				
・快適で安全な公園緑地が維持管理される。 ・地域の住民により自主的に公園の維持管理が行われる。						
4 活動指標・成果指標・事業費の推移						
区分	指標名称	単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値
活動指標	除草、樹木の剪定等実施箇所数(公園緑地管理委託)	箇所	33	45	50	-
活動指標	施設修繕・工事数	箇所	11	4	30	-
成果指標	維持管理上の不具合・トラブル件数	件	24	49	0	-
成果指標	管理協定締結公園緑地数(累計)	箇所	25	35	35	-
事業費		千円	8,576	15,412	8,570	
		うち一般財源	千円	8,576	15,412	8,570
5 目的妥当性						
法定受託事業である（根拠法令） 妥当である 妥当性が低い		・公園・緑地をやすらげる公共空間となるよう維持管理、整備することは、管理者である市の役割である。				
6 上位の基本事業への貢献度						
貢献度大きい（理由） 貢献度ふつう（理由） 貢献度小さい（理由） 基礎的事務事業		・市民の要望などに基づき公園・緑地を維持管理、整備することは、やすらげる公共空間づくりへの貢献度が高い。				
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討						
対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる 対象や意図の見直しはできない その他		公園・緑地を快適で安全に維持管理する事業であるため、対象や意図を見直すことはできない。				
8 有効性（成果状況）						
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない		遊具安全点検の実施、計画的に遊具設置及び除草等を実施したことで、成果はあがっている。今後も予算の範囲内で計画的に施設改修及び維持管理に努めることにより、不具合・トラブル件数の減少、管理協定公園数の増加など、成果向上の余地は大きい。				
9 有効性（成果向上余地）						
成果向上余地・大 成果向上余地・中 成果向上余地・小・無し						
10 事業の再編成						
類似の事業があり、再編成できる 類似の事業はあるが、再編成できない 類似の事業はない		他の公園管理事業と再編し、維持管理経費の削減を図る。				
11 効率性（コスト削減の方法）						
ある ない		自治会等と管理協定を締結することで、コストを削減できる。				